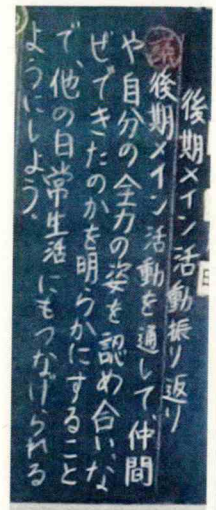


評価の観点	主体的に学習に取り組む態度	単元	後期メイン活動 振り返り (1年生)
本時のねらい	後期メイン活動で1組が目指す姿を視点に、取組を振り返ることを通して、個や集団の成長を確かめ合い、他の日常活動にも生かしているようにする気持ちを明らかにする。		

<主体的・対話的で深い学びにつながる指導について>

**【手立て①：話合う内容を明確にした議題設定の工夫】**

生徒が積極的に話合い活動を行うためには、この時間に何について話合い、話合いの後に何をを目指すのかを具体的にイメージさせることが大切である。そのため、司会進行をする議員と事前に打ち合わせを行い、右の写真のように議題を黒板に位置付けた。そうすることで、生徒は何を考えればよいのかが明確となり、司会者は話合う方向性がずれそうになった時も、議題に立ち戻るような進行や内容を深める問い返しにつながった。



**【手立て②：互いの成長（姿や気持ち）を認め合う話合いの進行方法の工夫】**

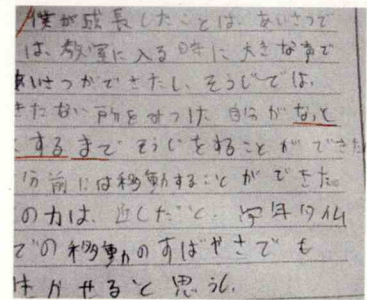
話合いでは、姿（事実）だけでなく、気持ち（願いや気持ち）の成長を確かめ、活動を通して生まれた学級の財産（〇組がこれからも大切にしたい気持ち）を明らかにできるように、司会進行の議員と事前に打ち合わせを行った。

「目指す姿を視点に、自分や仲間の具体的な事実」について意見交流をする中で、自分や仲間の「成長」に関わる発言が出た際に、「なぜできるようになったのか」と司会者が問い返すことで、活動する中で高められた気持ちを明らかにすることができた。また、積極的に動くことが苦手な生徒の成長が仲間から語られた時に、「その姿を見た人?」「その姿を見てどう思った?」と教師が話を広げることで、その生徒を頑張りを認め、学級に位置付けることができた。

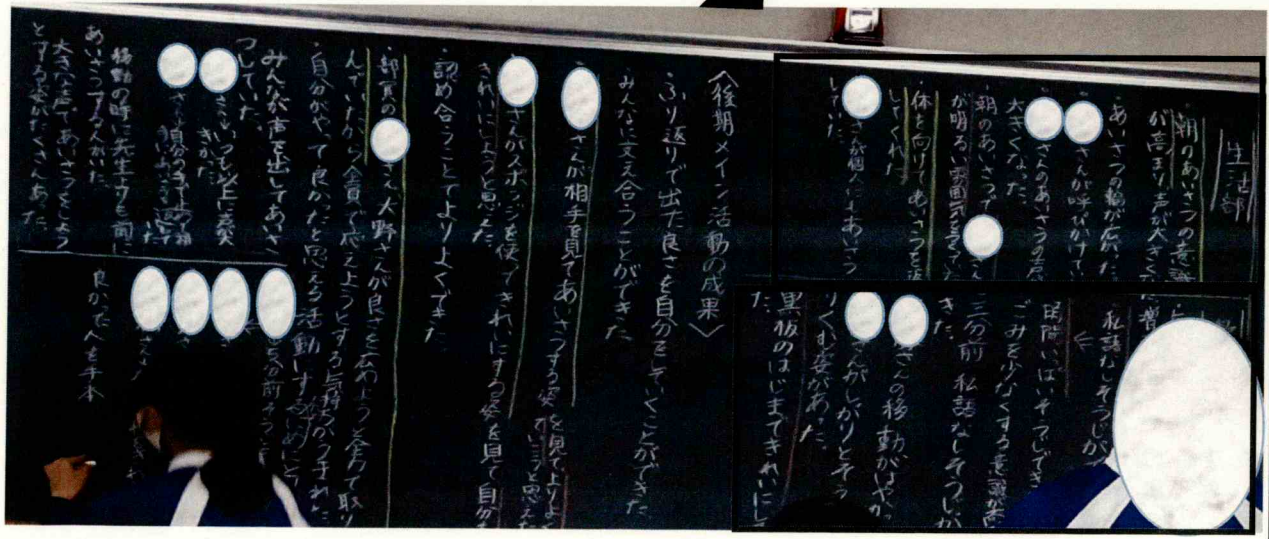


**【手立て③：成果を明らかにする板書の工夫】**

話合いを行う前に書記と打ち合わせを行い、話合いの中で出てきた事実（黄色）、気持ち（赤）を下記の黒板のように位置付けるようにした。そうすることで、後期メイン活動中、誰もが大切にできた気持ちやこれからも大切にしたいキーワードを明らかにすることができた。成果を明確にすることで、別の活動でも生かそうという意識を生み出すことができた。



<板書、生徒の作品、ノートなど>



**本時のねらい**

学級スローガンを視点に後期メイン活動の取組を振り返ることを通して、個や集団の成長に気づき、後期メイン活動を通して大切にしてきた気持ちを明らかにすることができる。

**本時の展開**

**1. 議員より開会を宣言し、本時の議題を確認する。【目標を設定する】**

今日は後期メイン活動の振り返りを行います。スローガンをもとにこれまでの取組の事実や気持ちを振り返り、1組の後期メイン活動の財産を明らかにしましょう。

**2. 後期メイン活動前半に対する部員（文化部員、整美部員）の気持ちを聞く。**

<p>一人一人が願いをもつてその達成に向けて全力で挑めば、成長につながり、学級目標に近づける。</p>	<p>後期メイン活動反省会 めあて 議題 学級スローガン 文化部 整美部</p>	<p>・二人一人が願いをもつ、「仲間と高め合う」の二つの視点から、自分や仲間の成長とそこに込めた気持ちを語らせる。書記に事実とそこに込めた気持ちを色分けして位置付けさせる。</p> <p>・議員に、事実やそこに込めた気持ちを明らかにする問い返しをさせたり、部員と同じような気持ちで取り組んでいる仲間について尋ねさせたり、一人一人に共通する気持ちを明らかにしていく。</p>
---	--	--

**3. スローガンを視点に、後期メイン活動前半の取組について、意見交流する。**

【仲間と学び、仲間から学ぶ】

**後期メイン活動スローガン**

一人一人が願いをもち 仲間と高めあうことで 自分に自信がもてる後期メイン活動にしよう

**「一人一人が願いをもつ」**

- ・自分は「自分の掃除場所を、誰が見ても美しい状態にしたい。」という願いをもって活動に取り組んでいた。それは、体育大会などで、やりきった達成感を自分一人でも味わいたいと思ったからだ。日々綺麗になっていく掃除場所を見ていると、「自分はここまでできるようになったのだ。」という気持ちでいっぱいになった。
- ・自分は整美部員として、「一人一人に願いをもって掃除に取り組んでほしい。」と思っていた。最初は、なかなか時間いっぱい掃除をする姿が見られなくて、自分だけが「もっとこうしてほしい。」という願いをもっていた気がする。だけど、自分の願いを仲間に伝えるうちに、だんだんと掃除に真剣に取り組むようになってきた仲間をみて、嬉しかった。

**「仲間と高めあう」**

- ・自分は「精一杯の声で歌いたい。」という願いをもって合唱を歌っていた。大きな声で歌える自分に満足していたけれど、「作曲者の思いを表現する合唱がしたい。」と願っている文化部員の気持ちを聞いて、「もっとよい合唱をつくりたい。」という願いをもつことができた。その達成に向けて努力できた自分は成長できたと思う。
- ・自分は文化部員として、「作曲者の思いを表現する合唱」を創り上げたいと思っていました。そのために、模造紙に歌詞をかいいたり、気を付けたい音楽記号をチェックした歌詞カードをみんなに配付したりした。だんだんと高まっていく合唱を聞いていると、「自分の願いが仲間に伝わったから合唱がどんどんよくなったんだ。」と思えて、嬉しかった。

ここまでの取組を考えると、合唱でも掃除でも私は成長できた。それは、曲想が伝わる合唱を目指しアドバイスをくれたり、美しく気持ちよい環境にしよう頑張ったりする仲間がいたからだ。きっと私たちならまだまだ成長できる。願いの達成に向かって全力で挑む気持ちを大切に、さらなる成長を遂げたい。

**5. 議長による本時の話し合いの評価をする。【自己を振り返る】**

- ・めあてに関わって、〇〇さんの自分の気持ちを見つめて語る姿がよかったです。

**6. 教師の評価を聞く。**

- ・後期メイン活動で成長することができた自分に自信をもち、その気持ちをこれからの日常活動に生かすことで、学級目標の達成に向かっていきましょう。

**<生徒の意識>**

後期メイン活動での姿やその姿を生み出した気持ちを確かめることができた。それが、1組や自分の成長なんだ。これからの日常活動でもこの活動で確かめた気持ちを大切にしたい。

**7. 議員より閉会を宣言する。**

○スローガンに込めた願いを再度確認してから、話し合いを始める。

○スローガンの「一人一人が願いをもつこと」、「仲間と高め合うこと」をもとに、これまでの取組の具体的な事実とそこに込めた気持ちを語らせることで、学級の高まりを目指してきたことを実感させる。

○「なぜそのように努力することができたのですか。」と問い返すことで、部員の願いに応えようとしていた自分の気持ちに気付かせる。

○整美部員や文化部員に「みんなの意見を聞いてどう思ったか。」と問いかけることで、「自分たちの努力が学級を向上させているのだ。」と、自己有用感を抱かせていく。

○書記と共に、後期メイン活動で大切にしてきた気持ちを焦点化し、後期メイン活動の財産を明らかにする。

**評価規準**

後期メイン活動の取組で、一人一人の願いの達成に向けて取り組んだ事実やその気持ちを交流することを通して、個や集団の成長に気付くことができる。

評価の観点	主体的に学習に取り組む態度	単元	前期メイン活動振り返り（3年生）
本時のねらい	前期メイン活動で、学級スローガンに迫る学級や一人ひとりが成長した姿を交流することを通して、全員が大切にしてきた思いから、大切にしていきたい思いを明確にし、日常活動でも表現していこうという決意をもつことができる。		

<主体的・対話的で深い学びにつなげる指導について>

【手立て①：本時までの生徒の動きと願いの実態把握】

・例年紙ベースで作成していた前期メイン活動の作戦書を廃止し、市から貸与されているタブレット端末のデジタルノートアプリを利用して、作戦書のデジタル化を図った。デジタルにすることで、毎日の自分の動きや願いの更新や改訂などの情報を学級全員と共有したり、即時に更新したりすることができた。

朝の会	姿勢を崩さず話を聞く 聞く姿勢を作った話してる人の思いに応える	活気が生 前日の様 を言う 授業の質
朝の会後の 行間休み 全て	着席の呼びかけ 移動の場合は、教室環境を整えるのを自分からすること呼びかけをする 3分前学習をしたい、という教科係の願いに答えると同時に授業を気持ちよく始められる	2分間学 教科係が

・情報更新を共有することで、仲間の願いが上方修正されたことに気づき、自分もよりよさを求めて動こうという意識が表れやすくなった。

【手立て②：デジタルノートを使った交流活動】

・従来ワークシートに記入したり、挙手発言して交流したりしていた場を統合した。デジタルノート上に書きこむことで、リアルタイムで仲間のやりきった事実やその裏にある気持ちを共有することができた。

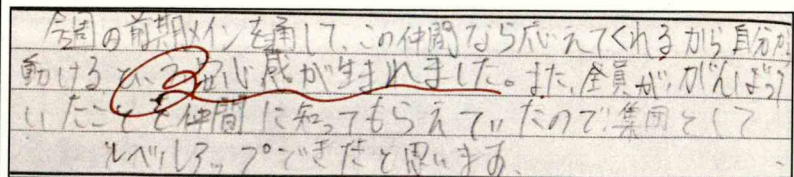
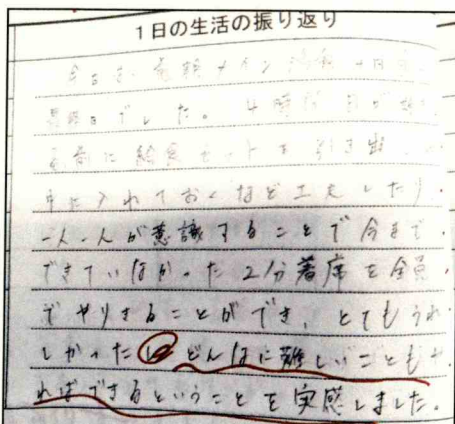
〇〇をやりきった	どんな気持ちがあったからできたのか
ロッカー、机列を最後まで完璧にしようとする事ができた	全員が自分から動こうとしていたから
机列やロッカーはもちろん、椅子の上まで整えることが出来た。	部員の願いに答え、前期メイン活動の観点を達成したいという気持ち
動き出しもこだわることが出来た。	
仲間の呼びかけに声や姿で答え	より良くしたいと言う願いを抱いて呼びかけしている人に応えたかったから
机列を自分から整える事ができた	生活部員の全校一の机列にしたいというねがい

・自分がやりきったことに自信がもてなかった生徒も、仲間の書き込みを見ることを通して、「自分も同じ体験をした」と共感することができ、デジタルノートに書き込むことが自己の成長を実感する手助けとなった。

【手立て③：深い学びにするために】

・「どんな気持ちからその行動をしてみようと思ったのか」と意図的に問い返すことで、「仲間の願いに応えたい」から動いたという気持ちを押さえた。そして、前期メイン活動で大切にしてきた気持ちを日常活動でどのように生かしていくのか、班ごとに考えさせることで、一人ひとりが決意をもつことにつながった。

<板書、生徒の作品、ノートなど>



**本時のねらい**

前期メイン活動で、学級スローガンに迫る学級や一人ひとりが成長した姿を交流することを通して、全員が大切にしてきた想いから、大切にしていきたい想いを明確にし、日常活動でも表現していこうという決意をもつことができる。

**本時の展開**

生徒の活動	指導と評価		
<p><b>1 議長より開会を宣言し、本時の議題を確認する。</b></p> <p>前期メイン活動が終わった今、学級スローガンをもとに1組の成長を振り返りましょう。そして、明らかになった大切にしていきたい想いをもとに、全員でこれからの日常活動でも自分たちが貪欲に求めていく動きが表現できるようにしていきましょう。</p> <p><b>2 前期メイン活動に対する部員（給食部員、生活部員）の気持ちを聞く。</b></p> <p>・帰りの会で呼びかけると次の日には仲間が必ず動いてくれた。また、「全校一の教室環境にしたい」という貪欲な願いを真剣に受け止めてくれて、全員が僕と同じ願いで動いてくれてうれしかった。これからも全校の顔としてやっていけそうだ。</p> <p><b>3 スローガンを視点に、到達度、具体的な事実をもとに前期メイン活動の取組について、意見交流する。</b></p> <p>議員の進め方 ① 自分や仲間が成長したと感ずることをデジタルノートで交流する。 ② 仲間の事実の裏にある気持ちを考える。 ③ 自分たちがやりきった事実の裏にはどんな気持ちがあるか考える。</p>	<p>○議員、部員に取組の成果や、前期メイン活動で得た充実感からくる気持ち、共に全力を尽くしてきた仲間に対しての思いを語らせる。</p> <p>○デジタルノートに記入してある具体的な事実と、その裏にある気持ちを考えることを中心に進行していけるようにする。</p> <p>○より自分や仲間の成長を実感できるように、体育大会の自分の姿や気持ちと比較させながら、前期メイン活動で何が高まったのかを明確にして話をさせる。</p> <p>○書記は後半の取組につきながらようなキーワードが分かる板書するように指導する。</p> <p>&lt;キーワード&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間の気持ちに伝える。</li> <li>・気持ちがつながる。</li> <li>・妥協せずに求め合う。</li> </ul> <p>○肯定的に事実を捉えさせ、自分たちの成長を実感し、大切にしていきたい想いを焦点化する。</p> <p>○班長を中心に、焦点化された想いをもとに、今後の部班活動や一人ひとりの動き方を明確にさせる。</p>		
<p><b>前期メイン活動スローガン</b> 自分の役割を貪欲に求め、仲間の動きを理解し妥協せずに関わり合うことで、 気持ちにつながる前期メイン活動にしよう</p>			
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="81 936 624 1339"> <p><b>給食部</b></p> <p>・衛生面に最重点を置き、チャイム2分後には、全員が手洗い、手指消毒を行えたのは、帰りの会での部員さんの「1組だからできる」と熱い語りがあったからだ。だから、1組は気持ちにつながった。</p> <p>・部員の語りに全員が応えられたのは、仲間の動きと願いを理解していたからだ。仲間の動きと願いを理解すると、学級の気持ちにつながる事が分かった。</p> </td> <td data-bbox="624 936 1158 1339"> <p><b>生活部</b></p> <p>・部員さんは、いつも呼びかけていた。移動教室前に、次の時間の準備で教科書の向きまで呼びかけていた。この部員さんの呼びかけがあったから、全校生徒に見られる、見せる教室環境を一人ひとりが意識できるようになった。</p> <p>・部員さんの本気の気持ちは全員に伝わった。この気持ちに素直に伝えたいと思ったから、自分から動くことができた。</p> </td> </tr> </table>	<p><b>給食部</b></p> <p>・衛生面に最重点を置き、チャイム2分後には、全員が手洗い、手指消毒を行えたのは、帰りの会での部員さんの「1組だからできる」と熱い語りがあったからだ。だから、1組は気持ちにつながった。</p> <p>・部員の語りに全員が応えられたのは、仲間の動きと願いを理解していたからだ。仲間の動きと願いを理解すると、学級の気持ちにつながる事が分かった。</p>	<p><b>生活部</b></p> <p>・部員さんは、いつも呼びかけていた。移動教室前に、次の時間の準備で教科書の向きまで呼びかけていた。この部員さんの呼びかけがあったから、全校生徒に見られる、見せる教室環境を一人ひとりが意識できるようになった。</p> <p>・部員さんの本気の気持ちは全員に伝わった。この気持ちに素直に伝えたいと思ったから、自分から動くことができた。</p>	
<p><b>給食部</b></p> <p>・衛生面に最重点を置き、チャイム2分後には、全員が手洗い、手指消毒を行えたのは、帰りの会での部員さんの「1組だからできる」と熱い語りがあったからだ。だから、1組は気持ちにつながった。</p> <p>・部員の語りに全員が応えられたのは、仲間の動きと願いを理解していたからだ。仲間の動きと願いを理解すると、学級の気持ちにつながる事が分かった。</p>	<p><b>生活部</b></p> <p>・部員さんは、いつも呼びかけていた。移動教室前に、次の時間の準備で教科書の向きまで呼びかけていた。この部員さんの呼びかけがあったから、全校生徒に見られる、見せる教室環境を一人ひとりが意識できるようになった。</p> <p>・部員さんの本気の気持ちは全員に伝わった。この気持ちに素直に伝えたいと思ったから、自分から動くことができた。</p>		
<p>全員の動きや願いを理解して、中心となる部員さんの願いに応える中で、気持ちにつながる手応えを感じることができた。また、学級全員で「陽南の顔」をめざして活動できたのは、楽しかったし、この1組なら全校一をめざして活動し続けていけると思った。</p>			
<p><b>4 出された意見をまとめ、今後も大切にしていきたい想いを明らかにする。</b></p> <p>前期メイン活動の財産</p> <p>この1組なら全校一をめざせるという想い</p>			
<p><b>5 日常活動に立ち返り、部班活動を通して自分たちができそうなことを考える。</b></p> <p>例：文化部班 今は合唱ができないから、全員の気持ちをつなげるために、5月に生徒会中心に行っていたよさ見つけを再び行おう。全員で仲間のよさを見つけ、全校の手本になれるように、まずは学級全員のよさを各自で見つけていこう。</p>			
<p><b>6 議員による本時の話し合いの評価をする。</b></p> <p><b>7 教師の評価を聞く。</b></p> <p>・全校一という大きな願いに向かって、部員中心に気持ちをつなげた1組。仲間の動きや願いを知ってそれぞれが動くことで、学級目標の「信頼」という言葉に一步近づきました。全員が「信頼」に近づくために、「互いに妥協せず」に「さらに」を求め合っています。</p>	<p><b>評価規準</b></p> <p>仲間の動きや願いを大切に、自分も1組の仲間とつながりながら役割を果たせる力が身に付いたことに気づき、1組がこれからも大切にしていきたい想いを、日常活動で表現していこうと決意している。</p>		
<p>&lt;生徒の意識&gt;始めは部員さんの「全校一」というのは大きな目標だと感じていたけれど、仲間の動きや願いを理解しながら共に活動していくことで、この1組なら全校一になれるんじゃないかと実感できた。今回は給食部と生活部だったけれど、この1組ならどんな日常活動でも「陽南の顔」としてやっていけそうだ。そして、この学級の仲間と「さらに」をめざして挑戦し続けていきたい。</p> <p><b>7 議長より閉会を宣言する。</b></p>	<p>○本時の話し合いで確かめられた想いや今後の生き方について、学級目標と関わらせながら、評価する。</p>		